51/1
第220号

さろま

広報 佐呂間町

新春の頌

子の音

子の子

発行　佐呂間町役場　　印刷　井谷印刷株式会社

たつどし

不況経済のうちに五十年も過ぎむかえる年は〝辰〟年
昇天する竜にあやかり
新しい年は上昇気流に舞う凧のように、よい年であることを、子等の書く〝たつの絵凧〟に希望を託す

（栃木小学校にて撮る）

不況下における 地方財政運営の確立 住民福祉の向上

佐呂間町長 船木長一郎

新春を迎え、町民各位の愈々の御多幸を、心からご祈念申し上げます。

昨年は、我が国経済の不振に加え、水災害等により農林漁業、中小企業の皆様のご労苦に対し、深い御同情を申し上げる次第であります。

町政にも斯様な影響を受け非常に困難な状況ではありましたが、議会をはじめ町民各位の理解あるご支援を賜り、五十年度計画は殆んど完了し更に、台風災害等についても緊急を要するものの対策を終え、残余の災害工事については、新年度国の負担金確保に務め、早い機会に全体の完工に努力致したいと存じております。

更に、昨年暮には内容的には極めて貧素ではありましたが、開基八十周年開町六十周年の意義ある式典が盛大に挙行し、今まで夫々の御立場で永い間町勢進展に尽された多くの方々に改めて感謝申し上げ、今後新しい世代に向って町民憲章を基本として、平和で誇りある町を形成すべく決意を新たにしたところであります。

さて、昭和五十一年の日本経済を基調とした町政の見通しでありますが、日々報道されております様に今日的主要課題である不況インフレは、一翼に解決される要因は見当らないと思います。

政府の施策について多くの批判もございます。

このことも当然と思います。

然し産業振興と国民生活の根源とも申すべき石油輸入価格が、今日は四倍以上に暴騰し、世界の経済が混乱冷却しており特に、資源に乏しい日本の工業に与えた打撃は痛烈であって企業の縮少、倒産による失業者の累増これが結果として国税、地方税の大減収によって財政の危機を招来しております

昭和五十年度においても、町財政の基本構成をなしております地方交付税交付金（国からの交付金）が、壱億八千万円も減収を余儀なくされております。

減収額だけで町税のおよそ一・四倍の額であります。

おそらく昭和五十一年においても相当額の減収を覚悟しなければならないと思いますので新年度の予算編成に当っては、極力経費の節減につとめ従前の行政を再検討し是正すべき点については行政の公正化を図る意味からも勇断を以って処理し、行政水準の向上に努めると共に、国、道に対しては地方行政の果しつつある役割の主要性を強く訴え、諸般の要請を強化してまいる所存であります。

何卒厳しい町政に対しご理解を賜り、一層の御支援と御鞭撻をお願い申し上げ御挨拶と致します。

謹賀新年

町議会

議長 伊藤太郎

副議長 山内春芳

〃 室井四郎

〃 鈴木喜八郎

総務財政委員会

委員長 船木長蔵

副〃 久米田鶴夫

委〃 福田幸教

〃 田中喜重

〃 為広紀義

〃 千葉清美

社会文教委員会

委員長 中原景勇

副〃（喪中）斉藤公男

委員 湯本英夫

〃 西喜作

産業工営委員会

委員長 片平俊男

副〃 川又利夫

委員 惣田隆次

〃 佐藤良一

〃 山田喬

〃 林俊彦

〃 田宮定夫

事務局長 田川敏之

書記 高瀬栄子

謹賀新年

農業委員会

会長 久米田鶴夫（北）

会長代理 浅田一男（大成）

福田幸教（朝日）

平戸康（川西）

中原景勇（武士）

中谷清（若里）

吉口正美（仁倉）

森利晴（朝日）

土田剛（北）

早坂福治（知来）

松浦藤雄（共立）

井上喜六（富武士）

今部好見（啓生）

沢井泉（中園）

高瀬勝久（栃木）

本田政雄（西富）

林一郎（知来）

片岡清弘（浜佐呂間）

近藤富幸（武士）

教育委員会

教育委員長 杉本磐

委員（喪中）山口義夫

〃 上高武

〃 石見昭郎

選挙管理委員会

委員長 豊田通幸

委員 尾上章

〃 春木忠一

〃 内藤学印

監査委員

委員 山本豊利

〃 西喜作

激動する社会に対応する議会運営

佐呂間町議会議長　伊藤太郎

町民の皆様あけましておめでとうございます。

輝やかしい昭和五十一年の新春を迎え、皆様方の御多幸と一層の御活躍をお祈り申し上げます。

長い間高度成長を続けて参りました日本経済も、昭和四十八年秋の石油危機以来、大きな転換期をむかえましたが、昨年の国内経済は大きく落込んだ景気と長びく不況により、国民生活に与える影響は深刻なものがありました。

この様な状況の中で町内的には春以来、しばしば大雨に見舞われ各所に被害を生じましたが、九月の大雨はついに仁倉川の堤防が決壊し、大きな被害となりました。

一方農作物については、天候不順で心配されておりましたが、夏以降の天候回復により、一部畑作において不作のもの、又、水害の被害等もありましたが、総体としてはかなり持直したことは幸いなことでありました。

又、昨年は開基八十周年開町六十周の年でありましたが、その記念式典に町民憲章が制定発表されましたが、皆様とともに制定された憲章を町づくりの目標とし守り育てて行きたいと思います。

本年は、先にも申し上げました様に、強い不況のなかで景気の回復はなかなか見込めない状況でありまして、町財政にもこれが大きく影響して極めて苦しい年になることが予測されます。

町民皆様方にはいろ〳〵と要望も多いとは思いますが、この際は出来るだけの我慢をしていただきまして、この苦しい年を切りぬけることが必要と思います。

このため議会におきましても、皆様方の意思を良く認識して、町政の上に充分反映する様、新たな決意を持って努力する覚悟でございます。

どうか町民の方々の絶大なる御支援と御指導をお願い申し上げまして新年の御挨拶といたします。

教育環境の整備と町民憲章を指標とした社会教育の推進

佐呂間町教育長　相田政之

明けましておめでとうございます。

希望にあふれる昭和五十一年の新春を、町民の皆さまとともに迎えることができますことは、このうえもない喜びであります。

本年は、昨年にひきつづき最近にない激動危機に直面し、今なお景気が停滞し、社会的、経済的また国際的にもきびしい環境の下、錯そうする難題をかかえ、とくに地方財政の運営は容易ならざる事態の年であります。

しかし、明るいあしたのためにこの試練を私たちひとりひとりが自覚しあい、この難局を是非乗り越えなければならないと思います。

この年に、心を新たにして、町づくりの基盤であります教育の環境づくりに、努力する所存であります。

かえりみますと、昨年は町の教育事業等につきましては、厳しい財政下のなかでありましたが、町理事者、町議会並びに町民の皆さまの深い御理解のもとに、計画どおり進められました。

実施した主なるものは、若佐中学校校舎改築第三年次事業（五千二百九十万）七月に、佐呂間中学校外三校の教職員住宅新築工事九戸（三千八十二万円）が十月に、浜佐呂間中水産クラブ資材室工事、佐呂間小学校教材室新築工事が十一月にそれぞれ竣工し、そのほか各学校教材教具（二千三百四十五万円）の整備、佐呂間小外校舎内外の補修並に整備事業が計画どおりすすめられました。

社会教育面では、念願でありました総合グランド整備事業（二千二百万円）十二月に完了、町体育館グランド、プールを中心とした各種目のスポーツ教室及び大会、青少年、婦人の講習、研修会、各校下における家庭教育学級の開設浜佐呂間校及び佐呂間小学校の学校開放事業等が計画どおり実施されました。

とくに高年層を対象とした「寿大学」は、在籍百二十七人、毎月二回以上、毎回七十人以上の出席で三年制卒業者五十八人、うちこの間の皆勤精励者十五人の好成果で十二月に卒業並びに終了式を挙行することができました。

本年は、校舎新改築補修工事並びに教材教具の整備をはかり、児童生徒の学習活動に更に向上を計るとともに、教職員住宅建設事業等の環境整備につとめ、また社会教育面では、生涯教育並びに新制定されました町民憲章の趣旨徹底の立場から、各層を対象とした巾広い社会教育を続けていく等、激動する社会に対応する人づくりをすすめ、郷土発展のために推進いたす所存であります。

どうか本年も、更に皆さまの深いご理解と温かいご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民皆さまがたの御健康と御多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶と致します。

人権擁護委員委嘱

浜佐呂間　尾上　章氏（再任）

北方にふさわしい個性豊かな北海道の発展!!

生活福祉の向上を目ざして

北海道知事　堂垣内尚弘

道民のみなさん、明けましておめでとうございます。

私は、昨年、道民のみなさんの温かい御支持をいただき、再び知事に就任いたしましたが、社会経済情勢が激しく変動しているさ中に新年を迎え、道政推進の決意を新たにしております。

昨年の本道は、台風や大雨による災害、炭鉱事故が相次いで発生いたしました。

不幸にして被災された方がたに対しましては、心からお見舞いを申しあげます。

また、インフレと不況が長期にわたり、産業経済をはじめ道民生活もかってない厳しい環境におかれました。

とくに、不況の影響を大きく受けて、企業倒産が続発し、物価についても、鎮静化の方向をたどっておりますが、必ずしも楽観を許さない状況にあります。

私は、このような情勢に対処し物価と不況対策を当面の緊急課題とし、道民の生活不安の解消に全力をあげてまいりましたが、今後とも「生活優先」、「道民主体」「中道、公平」の三点を基本に、できる限りの施策を実行していく考えであります。

しかしながら、経済の低い成長のもとにあって、これまでのような税収入の伸びが期待できない見通しにあり、道財政は極めて厳しい状況にあります。

このため、行財政全般にわたり徹底した見直しを加え、経費の節減に努めるとともに、政策の厳しい選択を行ってまいりたいと存じます。

そして、限られた財源のもとにありますが、道民のみなさんの要望にできるだけこたえるとともに、新しい時代に即応する行財政運営の確立をはかる考えであります。

今日、世界的にエネルギーや食糧の危機が叫ばれており、豊富な資源と広大な土地、豊かな自然環境に恵まれた本道に寄せる国民の期待は、まことに高いものがあります。

私は、北海道こそ、北方にふさわしい個性豊かな発展が見込まれる希望の地であると確信しております。

昨年来、北海道の大きな可能性をふまえながら、生活福祉の向上を基本に、新計画の策定にあたっておりますが、この計画は、本道の将来を方向づけるものにほかなりません。

すでに、多くの方がたから、この計画について貴重な御提言をいただいておりますが、今後さらに御意見をうかがい、道民参加の新計画をつくりあげたいと思います

寄附

放送用施設器具一式　八点　（三十万円相当）

鈴木木材株式会社

代表取締役　鈴木重一　殿

鈴木木材㈱では事務所の新築を記念して、老人いこいの家専用の放送施設を寄附されました。

勤労者住宅地分譲申込募集

宮前町に一ヘクタール　二十八戸分

昭和五〇年度町が造成した勤労者住宅団地の宅地分譲について左記のとおり申込を募集します。

記

一、宅地の所在、種別、区画数

宮前町勤労者住宅団地内

A　二七七・八四平方米（八四・〇四坪）　二六区画

B　二六二・三二平方米（七九・三五坪）　二区画

二、分譲価格

A　六三九、〇〇〇円

B　六〇三、〇〇〇円

三、応募資格等

応募資格その他については、町有宅地譲渡基準によりますので自治会を通じて回覧される基準をよく読んで下さい。

四、申込期間

自　昭和五〇年一二月二二日

至　昭和五一年　一月一〇日

五、申込の受付

佐呂間町役場財政課に備付の申請用紙により申請して下さい。

六、分譲代金の支払

昭和五〇年度内において、町長の指定する日迄に一括納入してもらいます。

謹賀新年

昭和五十一年元旦

町長　船木長一郎
助役　西田勤
収入役　仲川卓美
教育長　相田政之

総務課

総務課長　大島満
総務課長補佐　相沢武
庶務係　山本英人
〃　福田寿子
〃　河合之江
〃　鈴木敏子
〃　上城喜恵子
事務生　高橋豊子
技師　太知直美
公務補　大深春雄
総務課付　大門謙一
〃　矢口豊一

企画調査室

企画調査室長　藤岡正重
企画調査係長　宇佐美不二夫
交通係　浅田清
統計係　森岡良夫
企画調査係　深尾彩子
交通係（町営バス）　川尻正
〃　水戸静
〃　山内克子

財政課

財政課長　宮崎正義
財政課長補佐　市川弘

国勢調査結果まとまる

総人口　九、三〇七人
男　四、五一四人
女　四、七九三人
総世帯数　二、五九八世帯

本年十月一日現在で全国一斉に実施されました、国勢調査の結果がまとまり総世帯数二、五九八世帯(四五年国調との差二二戸減)総人口九、三〇七人(四五年国調との差一、〇〇四人減)となり四五年国勢調査と比較して、世帯数で〇・八%、人口は九・七%の減少となっております。

四五年国調のときの五ケ年間に於ける人口の減少率一八・二%からは、その減少人口も約半分に鈍化しておりますが依然として人口の流出による減少が続いている。

又家族構成についても核家族化がすすみ、四五年国調時の一世帯当り三・九人から今回の調査では一世帯当り三・五人となります。

次に集落別の人口異動状況では緑園団地、森永団地ができ宅地化がすすむ西富のみが増加しておりますが、佐呂間市街、栄、若佐、知来、仁倉、浜佐呂間などの人口減少が著しいといえます。

昭和50年国勢調査行政区(部落)別集計結果表

<佐呂間地区>

行政区	昭和50年国勢調査 世帯数	人口 計	男	女
佐呂間	722	2,368	1,106	1,262
西富	338	1,111	565	546
北栄	96	341	170	171
東栄	40	127	59	68
知来	99	395	189	206
仁倉	99	397	196	201
浜佐呂間	224	833	396	437
幌岩	57	250	125	125
浪速	15	66	33	33
富武士	152	542	270	272
若里	129	539	261	278
小計	1,971	6,969	3,370	3,599

<若佐地区>

行政区	昭和50年国勢調査 世帯数	人口 計	男	女
共立	55	245	125	120
大成	49	212	109	103
栄	56	165	78	87
啓生	32	131	69	62
栃木	34	151	74	77
中園	76	283	132	151
川西	31	126	60	66
若佐	160	525	241	284
武士	64	198	102	96
朝日	31	117	60	75
富丘	39	185	94	91
小計	627	2,338	1,144	1,194
総数	2,598	9,307	4,514	4,793

成人おめでとう

今年成人をむかえられて、成人式に該当される人は、昭和三十年一月十六日から三十一年一月十五日迄に生れた方です。

町教育委員会で調べた結果、男子四十七名、女子六十名、合計百七名の方が該当しており、お名前は次のとおりです。

成人式は一月十五日午前十時から佐呂間公民館で行なわれます。

◆共立　山本哲嗣、太田正直
◆大成　加藤幸恵、長縄克則、鎌野智子、山内茂夫、岸隆雄、島敏広
◆啓生　渡部誠治、今部好幸、政岡二三子
◆中園　滝日奈江、川根清子、長谷川とも子
◆若佐　白金博子、安藤啓子、茅山博子、佐藤幸子、村井健治、小高静江
◆栃木　松浦晃、畑尾勝
◆武士　青木正、徳永千代子、中原敏晃、佐々木悦子、山下和枝
◆富丘　宍戸清則、今部節子
◆朝日　井村宣子、稲玉信一、近藤隆人、結城克則、森田鶴子
◆西富　峯田進一、佐々木澄子、梶田博之
◆東　谷口修
◆北　小田智恵子、河村邦子、田中忠正、武田千鶴子、畠沢公子　久米佐代、畠沢千鶴
◆佐呂間　近藤良子、中西光行、緑川栄二、諸岡五月、片平静子、青木勝則、安斉誠一、板野愛子、得川幸二、中啓子、山添芳恵、石川昭三、大宮克美、堀口宏保、川崎由美、宮崎由加里、土田宏治、中谷洋子、本間節雄、伊藤龍一、加藤厚子、大門留美、藤宮妙子、下村やす子、佐藤まき子、坂本京子、原昭広、為広久美子
◆知来　青木美和子、岸本壮正、後藤富士雄、山中裕子
◆仁倉　佐藤誠治、大塚美登里、中津川洋子、山下正一、惣田千代美、川又弘子
◆浜佐呂間　大沢利江、鈴木充子、野崎はま子、堀米克宣、山崎国弘、進藤恵美子、山本百合子、山内忠光、折出保正、深尾京子、夏川ちづ江
◆幌岩　鈴木初子、坂谷菜穂子、松永義一、藤宮紀子
◆富武士　井上久美子、柳町寿美子、八島忠雄、縄幸子、岸本和子、小武海福俊
◆若里　土田一男、坂上雅浩、中谷正

民生課

民生課長　岸本勲
民生課長補佐　川崎謹一
保健衛生係　寺本稔
〃　井上真理子
住民係長　久米美恵子
〃　鈴木一郎
住民係　及川清子
社会係長　小池栄
社会係　上高邦俊
〃　吉村美智子
保育所保母　皆川蓉子
〃　川滝一枝
〃　館山よし枝
〃　嘉村美津子
老人いこいの家公務補　土門利子
老人家庭奉仕員　中村幸枝
保健婦　太田末子
〃　小松郁子
事務補　橋本和子
嘱託　河合忠子
年金係長　田中利行
年金係　畠沢京子

賦課係　西田昭夫
〃　阿部順一
徴収係長　越智義勝
徴収係　大沢孝司
賦課係　山本芳雄
〃　服部美貴子
財務係長　河本孝治
管財係　清原伸一
財務係　桐山三津代
林務係長　長沢徹
林務係　安藤貢
〃　山内忠義

国民年金

――成人の日は国民年金へ加入の日――

毎年一月十五日は、全国でいっせいに成人式が催されます。

日本に住む日本人は、二十才になれば、国民年金の被保険者（加入者）になることに、法律できめられていますので、あなたが、まだなら、すぐ加入の手続きをしましょう。

加入すると、美しい年金手帳があなたに手渡されます。これこそゆたかな国際社会人へのパスポートです。

ヨーロッパ、アメリカの若い人もみな年金にはいっています。

年金は遠い未来を守るだけではありません。加入して一年たった後は、交通事故、病気、天災などで、思わぬ障害を受けると、治るまで〝障害年金〟が支給になります。

また、働く父を亡くした家庭には〝母子年金〟が、さらに夫妻が早死にすれば、お子さんに〝遺児年金〟が支給されます。

そして、あなたが六十五才になれば〝老令年金〟をさし上げて老後をお守りするのです。

最近の日本は、世界でも指折りの長寿国となりました。したがって、老後の生活を考えて、若い時から準備をしておくことが必要です。

国民年金は、欧米なみに進歩した物価スライド制を採用していますから移りかわる物価に年金額が年々マッチして年を経ても年金が目減りしません。

保険料は、月に千百円ですが、ほかに月四百円の附加保険料を納めますと、多い老令年金が受けられます。加入の手続きは簡単です役場年金係で届書に必要事項を書き込むだけで済みます。

ただ、次の年金へ加入している人は、国民年金へ入いる必要はありません。

- 厚生年金　・船員保険
- 公務員、公共企業体職員、学校教職員、農林漁業団体職員などの各共済組合の加入者。

――私たちの国民年金シリーズ (1)――

任意加入

ふだんは、何かと忙がしさにとりまぎれて、ゆっくり考える時間が案外ないものですが、冬の夜長にじっくりと生活をふり返り、先ゆき、ゆるがない暮らしのあり方を考えてみましょう。

最近、新聞紙上で話題になった〝差別コマーシャル〟論議、社会的に男女は平等をと、活発に運動を展開しており、女性強しの感がしますが、いざ、結婚をして家庭にはいると頼りはやはり、ご主人の収入、経済的にはまだまだ弱者なのが現状のようです。

こうした立場にある主婦の座を守るため、国民年金では希望すればいつからでも加入できる「任意加入」のみちをひらいております

ご主人が勤務先で加入している厚生年金や共済組合などの年金制度はいずれも働く人たちを中心としているため、妻は半人前にしかあつかわれていません。

夫が亡くなったときには遺族年金がありますが、万一、あなたが病気、ケガのときの障害年金はないし、年をとった時にも、ほとんど保障はありません。

生活をささえる年金がご主人の分だけでは心細いことではありませんか

奥さん自身が国民年金に加入して、ご自分の年金と、ご主人の厚生年金とで老後の暮らしをより豊かにいたしましょう。

加入するとどれだけ有利か

- 国民年金に加入した人と
- しない人との比較……

年をとったときは

国民年金に加入しない人	厚生年金の加算分 28,800円	
国民年金に加入した人	厚生年金の加算分 28,800円	（国民年金から）老令年金

夫が死亡したときは

国民年金に加入しない人	遺族年金（夫の老令年金の半分）	
国民年金に加入した人	遺族年金	（国民年金から）老令年金

（以下次号に掲載します）

産業課
産業課長　幸松良茂
産業課長補佐　吉野一利
農政係長　諸岡照男
農政係　小川正夫
〃　川又則之
〃　藤沢博子
畜政係　川根章夫
〃　香川健一
技師　吉谷喜代治
商工水産係長　吉川好幸
商工水産係　中西祥文
地籍係長　宮田憲彦
地籍係　吉野文敏

工営課
工営課長　田中好一
建築係長　宇毛武男
建築係　中村誠孝
管理係長　田町幸夫
計画係　干場久
〃　藤田算之
水道係長　川滝寛
水道係　影山透
〃　小林博
管理係　式地勝美
〃　山本弘子
管理係　海老名登
〃　嘉村孝一
〃　瀬戸竹安
〃　今野敏夫
〃　片平久義
〃　谷口東洋和
〃　菊地善信
〃　杉森博
〃　伊藤光夫

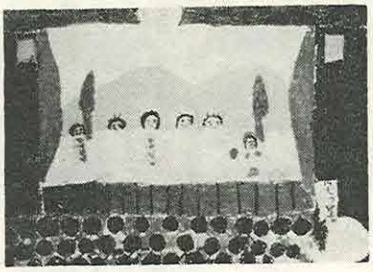
収入役室
会計係　中谷智子

ぼくとわたくしの作品

今月は佐呂間小学校のおともだちの作品を紹介します

三年生に四文字はむずかしい題材ですがよくまとめました。

三年　大塚直樹



二年　秋葉由美

おどっている人も見ている人もしっかりかけていますね。

一ねん　えんだてゆきこ

たのしいえんそくのようすがよくでていますね。

全体的に力強くてりっぱな字ですが筆の入れ方に気をつけるともっと良くなるでしょう。

四年　西沢　香

寄附　交通安全対策に!!

市川市太郎氏

佐呂間町農協に永年勤務された市川市太郎氏が、今般退職し遠軽町へ転出されるに際して、交通安全対策に役立てて下さいと一金壱拾万円を町交通安全対策本部に寄附されました。

歳末たすけあい運動
温い善意の御協力
ありがとうございます

十二月一日から一斉に始められた「みんなで明るいお正月」に町内多数の方々から心のこもった温かいご協力により義援金がよせられました。

これらの義援金に、町費と社会福祉協議会に寄附された資金の中からの支出金とあわせたものについて社協配分委員会、民生委員協議会で配分決定し、十二月二十六日にそれぞれ該当者のお手元にお渡しいたしました。

拠出いただきました義援金、配分内訳を報告し、協力下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。

▼義援金　五七万八二〇円
▼町支出金　一五万円
▼社協支出金　三二万六千円
▼繰越金　九万四千一九三円
合計　一一四万一千一三円
▼衣料品その他　三〇点
▼配分内訳
・町内要保護世帯　五一世帯
四六万四千円
・里子世帯　三人　一万二千円
・施設入所者　六四人
二五万六千円
・居宅寝たきり老人　一二人
六万円
・長期入院患者　一〇五人
三三万三千円
配分残高の処理
配分金合計　一百一二万五千円

で残金一万六千一三円の残を生じましたが、これは配分計画後収入された義援金があるためで、共同募金で保管し翌年度に繰越しいたしますので承知下さい。

助け合いに協力された方の名前
（順不同、敬称略）

浜佐呂間農協婦人部、幌岩自治会
佐呂間町日赤奉仕団、町議会議員会、農協青年部栄支部、富武士自治会、石黒スエ、消防組合佐呂間支署職員一同、北農協婦人部、若里農協婦人部、特別養護老人ホーム職員一同、栄農協婦人部、仁倉自治会、朝日自治会、森利晴、真如みどり、福田幸教、佐呂間漁組青年部、東農協婦人部、北自治会
西富自治会、佐呂間公明党員一同
佐呂間漁業婦人部、若里自治会、知来自治会、浪速農協婦人部、啓生自治会、栃木農協婦人部、共立自治会、鈴木順吉、大喜木材KK
若佐自治会、武士農協婦人部、若佐婦人会、中園川西自治会、遠軽自衛隊灯台会一同、知来農協婦人部、佐呂間婦人会、浜佐呂間自治会、武士自治会、浜佐呂間婦人会
佐呂間ダンス同好会、朝日農協婦人部、中園川西農協婦人部、富丘自治会、役場職員一同、東自治会
西富公住自治会、富丘農協婦人部
佐呂間町青年団体協議会、仁倉農協婦人部、大成栄自治会
（十二月二十二日現在）

若佐支所

支所長	越智　一
支所係	藤沼初江
〃	森内和枝

浜佐呂間出張所

出張所主任	安藤雄治
出張所係	田口エイ子

農業委員会

事務局長	皆川秀一
総務係長	小野公啓
農地係長	有光乙二
〃	沢谷　寛

教育委員会

教育次長	玉井　清
社会教育係長	高橋利治
社会教育係	茅山照男
〃	伊藤哲男
教諭	小林恵美子
〃	川又良子

学校教育係長

幸松博義	
総務係	山本良一
〃	十亀　伸
学校教育係	井上久美子
公務補	坂忠義明
体育館公務補	土門房勝

佐呂間町特別養護老人ホーム

園長	中村一雄
総務係長	伊藤　豊
総務係	金沢美智子
技師補	稲熊澄子
〃	佐々木澄子
〃	沖　啓子
寮母	佐野扶美子
〃	桜井ヒデ子

お知らせコーナー

幼稚園児の募集

幼稚園も設立以来地域住民の御協力により四年目を迎えました。四月から入園させます昭和五十一年度第四期園児生を次の要領で募集致しますので期日までにお申込み下さい。

尚、幼稚園は学校教育法に基づいて設置されますが義務教育ではありません。

- 応募資格
  満五才で小学校入学一年前の幼児（今年の場合は昭和四十五年四月二日～昭和四十六年四月一日までに生れたもの）
- 入園料及び保育料
  現入園料　一千円（改訂があるやもしれません）
  現保育料　千五百円（改訂があるやもしれません）
- 学級数及び定員
  二学級　八〇名
- 入園申込み及び締切り
  申込み　佐呂間町教育委員会
  締切り　二月五日
- 幼稚園所在地
  西富旧町営グランド敷地内

その他不明の点、詳しいことは教育委員会事務局へお問い合せ下さい。

水道の故障、凍結の修理は㈱岸組へ

御連絡下さい

従来佐呂間市街地域に於て、簡易水道を御利用いただいておる方の水道の故障、凍結などによる修理は町工営課水道係が行っておりましたが、今後、簡易水道補修業務は㈱岸組が代行して行うことになりましたので、佐呂間市街地内の水道を御利用いただいている方で故障、凍結の際には次のところへ御連絡くださるようお願いします。

記

連絡先　宮前町㈱岸組
（電話三一一番）

尚夜間は宮前町の高橋誠さん（電話三七七九番）へ御連絡下さい。

町政日誌

十二月

二日　特設人権相談所開設
　　年末調整説明会
三日　寿大学閉校式
　　交通指導員研修会
四日　身障分会役員会
八日　連Pと町長との懇談会
九日　公営住宅入居者選考委員会
十一日　例月出納検査
　　開基八十周年開町六十周年記念式典
十五日　第五回農業委員会
十六日　消防幹部会議
十八日～二十日　定例第四回町議会
二十二日　民生委員協議会
二十三日　定例教育委員会
二十四日　4Hクラブ農業実績発表会
二十五日　社会福祉協理事会
　　五十一年度予算編成打合せ会議
二十六日　自治会長会議

水町時社

- 急救車霜夜をついて迫り来る
- 滝涸るる層雲峡は眠に入る

中村黎容

- 田舎みち坂にかかりし乙女子がリヤカーひきつつ汗ぬぐいけん
- 寿きに仲よき友と学びきて今日の佳き日に了る喜び

宇佐清馬

二月例題「成人式」「鏡餅」

喪中

総務課庶務係　安藤嘉朗
企画室交通係（町営バス）　船戸宇多子
財政課財務係　門崎和子
民生課住民係　櫛部志津子
保育所保母　山腰千枝子

農業改良普及所

主任　大沢志男
　　有瀬光晴
　　芳村工
　　鈴木勝義

遠軽地区消防組合佐呂間支署

消防士　岡本貢
　〃　橋本英夫
　〃　佐々木博良
　〃　青木孝司
　〃　天内順治
　〃　門茂治
　〃　佐久美晴好

公務補

　〃　佐々木キミ子
　〃　宗村文枝
　〃　山崎信子
　〃　水戸一子
　〃　菊地喜久江
　〃　脇本ヨシ子
　〃　松本トシ子
　〃　神田清子
　〃　小野道子
　〃　影山光江
　〃　中南和子
　〃　三田アヤ子
　〃　小林登志子
　〃　中原久美子
　〃　武田正男